

JR東海労ニュース

No. 828

2006年 7月19日

JR東海労働組合

ユニオン役員よ！ 東海労を批判する前に ユニオン組合員の悲痛の声を聞け！

ユニオン本部は、組織情報No. 453で「妥結はしたけど反対？海労、赤児の珍弁明！」と東海労批判に躍起になっている。その内容は「JR東海労業務速報No. 575」の一部を意図的に取り出し、ユニオンに都合良く解釈するという全く姑息でお粗末なものである。

東海労は「新しい人事 賃金制度」について妥結することを会社に通告した。しかし妥結=すべて賛成ではない。問題点、矛盾点は多く残っている。東海労は会社に問題点を申し入れ、解決を迫っていく。

また、ユニオン本部役員は「JR東海の労働条件向上は我がユニオンが担う！」と力強く宣言している。責任組合として、しっかりと頑張ってもらいたいものだ。しかし、ユニオン本部役員は、「基本給の逆転現象」や「55才以降の扱い」などで、さまざまな不満の声がユニオン組合員から出ているのを知っているのか。東海労を批判する前に会社としっかり交渉し、組合員から不満が出ないようにするのが先だぜ！大きなお世話か？

ユニオン本部役員よ！

東海労を批判するのは、自由である。大口をたたくのも自由である。しかし、吹き上がる組合員の不満の声を抹殺するために、批判の矛先を東海労に向けることは絶対許さない。

ユニオン組合員のみなさん！

今こそユニオンに見切りをつけて、
JR東海労に加入しよう！